

令和5年度

津波防災地域づくり 講演会 in 網走

参加無料
定員460名

定員に達した場合は
募集を締め切ります

～巨大津波想定にどう向かい合うか～

日時
令和5年10月18日(水)
10:30～12:00 (開場10:00～)

場所
オホーツク・文化交流センター (エコーセンター2000)
網走市北2条西3丁目3番地

※駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合わせてご来館いただくか、
公共交通機関のご利用をお願いいたします。

網走市の津波遡上 CG (網走沖モデル+20')

2011年の東日本大震災は、東北地方太平洋沿岸を中心に多数の尊い命が奪われました。死者・行方不明者の9割以上は巨大津波に巻き込まれたことが原因とされています。

昨年、北海道では、「日本海溝及び千島海溝沿いを震源とする巨大津波」に対し、死者数を最大14万9千人と想定し、その被害を早期避難などの防災対策で、約1/3に抑えることが可能とする被害想定を公表しました。

地震や津波はいつ、どこで起こるかを予測することはできません。
日頃より防災・減災、早期避難の意識と防災対策の準備が重要です。
「巨大津波想定にどう向かい合うか」について東京大学の片田敏孝教授をお招きしてご講演いただきます。

オホーツク地域の皆さまに向けて講演会を準備しました。幅広い世代の皆様のご参加お待ちしております。



プログラム

- 10:00 開場・受付
- 10:30 開会
- 10:30 開会あいさつ 北海道建設部長
- 10:35～11:55 ... 講演「巨大津波想定にどう向かい合うか」 片田 敏孝 氏
- 11:55 閉会あいさつ
(一財)北海道建設技術センター理事長
- 12:00 閉会



講師プロフィール

片田 敏孝 氏 (かただ としたか)

東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長



専門は災害情報学・災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に防災教育については、地域防災と連携した育みの環境ととらえた活動を展開している。また地域防災については、地域の災害文化として、災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の地域での定着を図ってきた。これら一連の活動が認められ、平成 24 年には防災の功労者として内閣総理大臣表彰を受賞、さらに同年海洋立国日本の推進への功労者としても、内閣総理大臣表彰を受賞している。また平成 26 年には皇居に招かれ天皇皇后両陛下にご進講もしている。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会会長、日本自然災害学会理事がある。

申し込み方法

当日の参加申し込みも賜りますが、会場整理の都合上事前申し込みをお願いいたします。
インターネット、または FAX にて 10 月 2 日 (月) 17 時までにお申し込みください。
なお、定員に達した場合は締め切りますのでご了承ください。

●インターネットにてお申し込みの場合

一般財団法人北海道建設技術センターホームページの新着情報より
「津波防災地域づくり講演会 in 網走」のページからお申し込みください。
(URL : <https://www.hoctec.info>)

二次元コード



●FAX にてお申し込みの場合

下記にご記入の上、FAX 011-218-7604 (北海道建設技術センター) までお申し込みください。

	ふりがな お 名 前	お 住 ま い	ご 職 業	会社名等	電話番号
参 加 申 込 書	-----				

※参加申込書に記載された個人情報は、受付整理や当講演会に関する諸連絡のみに利用し、それ以外の目的には使用しません。

●申込方法について お問い合わせ



一般財団法人 北海道建設技術センター 総務部契約研修課
津波防災地域づくり講演会事務局担当
TEL : 011-218-7600
E-mail : info@hoctec.or.jp

●講演会について お問い合わせ



北海道建設部 建設政策局 維持管理防災課 施設防災係
TEL : 011-231-4111 (内線 29-763)
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/index.htm>
E-mail : kensetsu.kenbou@pref.hokkaido.lg.jp